

## コンサルテーション事業報告

事業の名称	学校教育の評価分析 支援事業	事業代表者	清水 禎文
対 象	中学校・高等学校の校長・教頭・教務主任など		
目 的	中等教育機関における学校教育評価分析・支援活動を中心として、学校経営の質的改善に資することを目標とする。このため、主に学校において定期的に学校経営、教員サポート、学習支援などの活動を行い、これらの事実を踏まえた評価分析活動の支援、相談業務等を実施することが目的である。		
実 施 日	月 2～4 回程度	実施回数	40 回程度
実 施 場 所	学校 研究室		
主なスタッフ	清水禎文（助教） 新川壮光（D3）	人 数	2 名
ス タ ッ フ の 活 動 内 容	<p>○学校経営支援（清水） 宮城県角田高等学校、宮城県仙台南高等学校、尚綱学院中学校・高等学校における教育課程編成及び学校経営に関するコンサルテーション事業（14回）</p> <p>○カリキュラム開発及び学習支援活動（清水） 宮城県仙台南高等学校の「課題研究」開発支援及び学習指導支援（8回）</p> <p>○学校評価アンケート等の評価分析支援（清水・新川） 宮城県仙台二華中学校・高等学校における学校イメージ調査、学校評価アンケートの評価分析に関わる支援活動（18回）。</p>		

<p>事業実施内容</p>	<p>○学校経営支援</p> <p>宮城県角田高等学校および宮城県仙台南高校における学校経営、教育課程改革に関する助言活動を行った。また教育課程編成を中心とする学校経営に関する評価分析を行い、両校に報告書を提出した。対象は同校の校長、教頭、主幹教諭、教務部長・主任、学年主任等であった。</p> <p>尚綱学院中学校・高等学校では、PBL（問題解決学習）の実施状況視察および聞き取り調査を踏まえ、同校の教員研修会で PBL からアクティブ・ラーニングへの展開と可能性について講演（7～8月）を行った。</p> <p>○カリキュラム開発及び学習支援活動</p> <p>スーパー・グローバル・ハイスクールに指定されている宮城県仙台二華中学校・高等学校における「SGH 事業」「総合的な学習の時間」を中心とするカリキュラム開発及び学習活動の支援および評価分析活動を行った。</p> <p>仙台南高校における「総合的な学習の時間」を用いて展開されている「課題研究」の学習活動の観察および学習支援活動を行った。特筆すべき活動は、前期に本学附属図書館の協力を得て、同校教員を対象とする文献検索講習会を開催したこと、後期には同校主幹教諭からの依頼を受け生徒の学習支援活動を行ったことである。</p> <p>○学校評価アンケート等の評価分析支援</p> <p>仙台二華中・高における「学校イメージ調査」（7月実施）、「学校評価アンケート」（12月実施）の評価分析を行った。今年度の「学校イメージ調査」は2つの学年の生徒および父兄を対象とした調査であり、「学校評価アンケート」は全学年の生徒・父兄を対象とした調査である。これらの調査票作成、評価分析を行い、学校経営の参考資料を作成した。特筆すべきは、昨年度末に中学校入学第1期生が卒業したため、過去6年間のデータの縦断的にまとめて報告書を作成したことである。これらの調査結果は、校長・副校長・教頭・主幹教諭・研究部長等を対象として報告した。また調査報告書は、同校学校評議員会資料としても活用された。</p> <p>○その他の相談活動</p>
---------------	--